

2017年9月2日

最新の将棋に思う

最近の若手の将棋は、昔と比べて格段の進歩と言うか革新に満ちている。ひよっとすれば、先手の早い段階での66歩は敗着になりかねない。先日の佐藤9段VS豊島戦がその証左であるかもしれない。

辻君のレポートを熟読させていただいたが、近代将棋は徐々にそれに沿った方向に進みつつあるように思えてならない。豊島8段の最近の2局がとんでもなく強い。大駒が1枚違うという感じである。AI感覚と言っても過言ではないと思う。

将棋の世界はこれほど進化しているのに、日本のシステムは遅々として進化していない。既得権にしがみついている人間どもには、それを変えろというのは無理かもしれない。

残念ながら、将棋界に既得権はない。負け続ければ引退しかないのである。しかしながら、そういう世界であればこそ進化し続けるのである。

さらなる進歩を楽しみにしながら、超優れものの将棋を見届けていきたい今日このごろである。

市川 進